

二〇二四（令和六）年度

長野大学 編入学試験

「小論文」

受 験 番 号	
FF—	
TT—	
JJ—	
氏	名

※受験番号欄には、FF・TT・JJのうち該当するいずれかを○で
かこみ番号を記入すること。

△受験上の注意▽

- ① 試験中は試験監督者の指示に従うこと。
- ② 筆記用具・時計以外はカバン等に入れてイスの下に置き、机の下の棚には何も置かないこと。
- ③ 携帯電話の電源を切り、アラームを解除すること。
- ④ 質問等がある場合には黙って挙手すること。
- ⑤ 途中退場は認めない。
(体調の急変等については、挙手して申し出ること)
- ⑥ 試験開始の合図があったら、「出題文用紙」「下書き用白紙」「解答用紙」があるので確認すること。
- ⑦ 表紙、解答用紙に受験番号、氏名を記入すること。
- ⑧ 解答用紙は鉛筆書き（シャープ・ペンシルも可）とし、楷書で丁寧に書くこと。
- ⑨ 時間は六〇分である。

二〇二四（令和六）年度 長野大学 編入学試験
小論文 出題文用紙

次の文章を読み、設問一および設問二に答えなさい。

何も考えなければ、歩行者の目を楽しませるアートに見えるかもしれない。ときには愛らしい相貌をもつケースさえあるから厄介だ。しかし、その意図に気づくと、都市は悪意に満ちている。私見によれば、一九九〇年代後半から、オウム真理教による地下鉄サリン事件を契機に、日本では他者への不寛容とセキュリティ意識が増大し、監視カメラが普及すると平行しながら、こうした排除系のアートやベンチが出現した。ハイテク監視とローテクで物理的な装置である。

（中略）

JR秋田駅の自由通路において、ベンチにロープを張って、「使用禁止」の札を下げたが、それでもホームレスが寝ていたので、管理する市まちづくり整備室は、ベンチに仕切りを設け、横になれないようにすることを計画したという（『読売新聞』二〇〇二年十二月四日）。なお、記者の神田誠司が、公園のベンチにひじかけ状の仕切りをつけて、わざわざ三等分していることが気になり、大阪市公園緑化部に質問したところ、以下のような回答もらっている（「無粋なベンチの仕切り」『朝日新聞』二〇一四年五月一三日）。すなわち、「ベンチを寝床がわりにするホームレスの人が増えた一九九八年ごろから、近隣住民からの要望でつけるようになった」というのだ。（中略）言うまでもなく、本来、ベンチは座るためにデザインされたプロダクトである。だが、通常は複数人で座ることも想定し、細長くなっていることによつて、その上部で寝そべることも可能だ。これは本来、意図されていなかった用途かもしれない。だが、行き場を失ったホームレスにとつては、冷たい地面の上で寝ないですむ台として活用できる。そこで座るといふ役割だけを残して寝そべることを不可能にしたのが、仕切り付きのベンチなのだ。増えはじめた頃のベンチをよく観察すると、仕切りは明らかに後から付加されたものが多く、行政や管理者の公共空間に対する考え方の変化が可視化されていた（写真1）。すなわち、誰もが自由に使えるはずの公共空間が、特定の層に対しては厳しい態度でのぞみ、排除をいとわぬものに変容している。おそらく、通常の生活をしている人は、仕切りがついたことを深く考えなければ、その意図は意識されないだろう。言葉で「禁止」と、はっきり書いていないからだ。しかし、排除される側にとつて、そのメッセージは明快である。つまり、排除ベンチは、言語を介在しない、かたちのデザインによるコミュニケーションを行う。

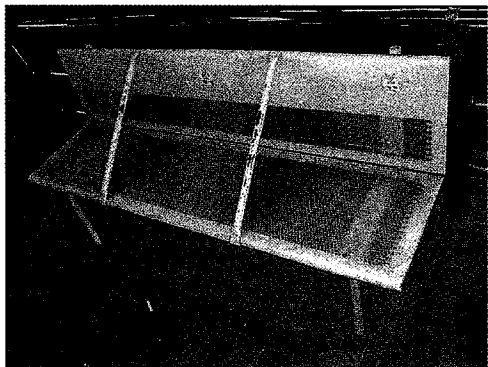


写真1 鉄の棒のぎこちない溶接から推測すると、おそらく後付けによる排除ベンチ（2003年撮影）

禁止だと命令はしないが、なんとなく無意識のうちに行動を制限する。これは環境型の権力なのだ。アフォーダンスの概念は、環境が人間や動物に対して影響を与え、ふるまいをうながすことを意味するが、ここでは「させない」という動作の否定に用いられている。またデザインの分野において、アフォーダンスの視点が導入されると、すぐれたデザインとはその使い方を自然にアフォードするものという考え方となるだろう。例えば、ドアノブが円形になっていれば、深く考えなくても、人はそれを握ってまわすという風に。

排除ベンチは「進化」し、やがて仕切りをあらかじめ備えたプロダクトが登場するようになった。コトブキなどのベンチのメーカーのホームページを調べると、こうした製品は様々な存在することが確認できる。また背もたれがなく、座板が弧を描いたり、膨らんだベンチは、仕切りがなくても安定して寝そべることができないために、さらに座るといふ機能だけに特化される（写真2）。

（五十嵐太郎『誰のための排除アート？不寛容と自己責任論』。一部改変）

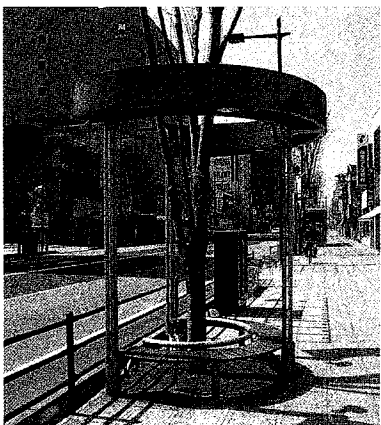


写真2 街路樹を囲む、短い半径のリング型ゆえ、寝そべるのが難しい水戸のベンチ

